

宇宙線と気象に関するシンポジウム

期日 1965年12月22日(水) 10時~17時

会場 気場庁第一会議室(東京都千代田区大手町 1-7)

プログラム

10時~12時

一般講演 座長 宮崎 友喜雄(理研)

- | | | |
|------------------------|-----------|-----|
| 1. 宇宙線に及ぼす成層圏の気温日変化 | 北村正函(気象研) | 20分 |
| 2. 宇宙線日変化からみた高層気温日変化 | 森 覚(名大理) | 30分 |
| 3. 山と地上の気圧差よりみた平均気温日変化 | 奥谷晶子(理研) | 20分 |
| 4. コメント | (気象庁) | |

休憩 12時30分~13時30分

13時30分~15時15分

総合講演 座長 大田 正次(気象研)

- | | | |
|------------------------------|------------|-----|
| 1. 宇宙線と気象との関係 | 関戸弥太郎(名大理) | 30分 |
| 2. 宇宙線観測に係る高層気象について | 関口理郎(気象庁) | 40分 |
| 3. Deep River に於ける宇宙線大気効果の研究 | 小玉正弘(理研) | 30分 |

休憩 15時15分~15時30分

15時30分~17時

一般講演 座長 長島 一男(名大理)

- | | | |
|-----------------|-----------|-----|
| 5. 気圧測定に及ぼす風の影響 | 川崎信吉(理研) | 20分 |
| 6. 宇宙線の準双年変化 | 須田友重(気象研) | 20分 |
| 7. まとめ | 宮崎友喜雄(理研) | |

月例会のおしらせ

主題: レーダー気象

会期: 12月16日(木) 9時30分より

会場: 気象庁 講堂

午前の部 9時30分より12時まで

レーダーによる台風共同観測打合せ会と共催により次の主題で討論します。

主題 台風位置決定の問題点

1. 台風中心の決定法
2. 数ヶ所のレーダーによる決定位置不一致の問題
3. 気圧中心とエコー中心

午後の部 13時より17時まで

研究発表

1. レーダー係(東京管区気象台): 富士山レーダによる顕著なエコーについて(15分)
2. 福島辰次(東京管区気象台): 富士山レーダによるエコー出現分布(15分)
3. レーダ係(仙台管区気象台): 仙台気象レーダによる基礎調査(2)(20分)
4. 山中陸男・前田宏(福岡管区気象台): エコー高度についての統計(15分)

5. 今門宗夫・堤良造(種子島測候所): 集中豪雨時の場の流れとレーダエコーの関係について(15分)
6. 野角吉憲(種子島測候所): 低気圧前面エコーの特徴(15分)
7. 柳沢善次・荒井慶子(気研台風): 北陸豪雪のレーダ解析(15分)
8. 牛島敏光(福岡管区気象台): 梅雨前線付近のエコーシーケンス(15分)
9. 藤戸誠(種子島測候所): ダクト現象と気圧配置について(15分)
10. 小平信彦(気研台風): レーザによる気象観測について(15分)

2月月例会講演会募集

主 題: 長期予報

会 場: 気象庁第1会議室

会 期: 2月24日(木) 10時より

申 込 先: 東京都千代田区大手町

気象庁予報部長期予報管理官室 朝倉正

締切期日: 12月末日